

## 深圳レポート

### 拡大する中国のオンラインフードデリバリー市場 2019年、中国のオンラインフードデリバリー市場およびユーザー分析

ポイント:

- 2019年第3四半期における中国オンラインフードデリバリーの取引金額は約3兆円に達した
- フードデリバリー市場は「天下二分」の状態
- オンラインフードデリバリーアプリのユーザーは30歳以下が8割

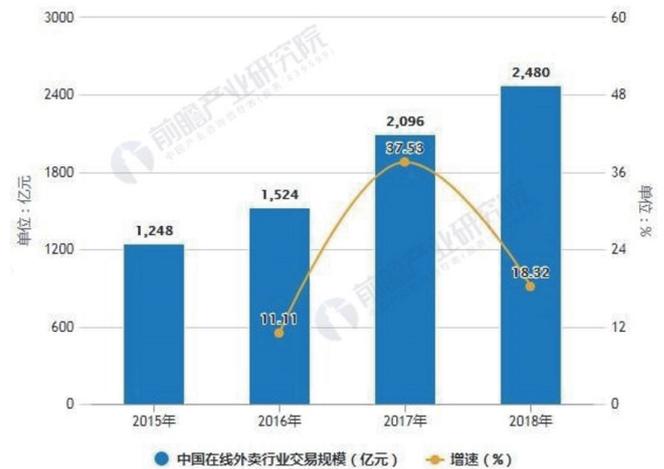
関連サイトURL:

- <https://new.qq.com/omn/20190929/20190929A0IO9900.html>
- <https://www.analysis.cn/article/analysis/detail/20019473>
- <https://bg.qianzhan.com/report/detail/300/191015-1d6bc4cf.html>

#### 2015年—2018年、中国のオンラインデリバリー業界に関する統計

2019年9月28日、「新浪微博」ホットピックス・ランキングで1位を獲得したのは、「中国のフードデリバリー取引金額が1952.9億元（約3兆円）に達した」という話題（投稿）であった。

数十年の発展を経て、中国のフードデリバリー産業は成熟し、安定した成長環境を形成している。「網経社」のデータによると、2018年の中国オンラインフードデリバリー業界の取引金額の合計は前年比18.3%増の2480億元（約3.9兆円）に達した。ユーザー規模も4億600万人に達し、2017年の3億1000万人から31%増加した。



**TOP1 #中国外卖消费达1952亿#**  
2019年Q3中国餐饮外卖市场整体交易规模将达1952.9亿元，同比增长35%。  
阅读数: 1.1亿 主持人: 五环短视频

**TOP2 #飞机票比去年降了近200元#**  
有报告显示，预计今年十一黄金周期间，我国将有8亿人次出游，尽管出行...  
阅读数: 1.9亿 主持人: 央视财经

**TOP3 #工作和专业一定要对口吗#**  
工作最不对口专业排行榜出炉，工作与专业相关度最低的30个专业中，社...  
阅读数: 522.7万 主持人: 蓝鲸财经记者工作平台

▲2015-2018年、  
中国のオンラインフードデリバリー業界の  
取引金額の推移  
単位:億元  
データソース:前瞻産業研究院のまとめ



▲2015-2018年、  
中国のオンラインフードデリバリー業界の  
ユーザー数の推移 単位:億人  
データソース:前論産業研究院のまとめ

## 2019年第3四半期、中国のオンラインフードデリバリーおよびテイクアウト市場取引の予測と分析

「Analysys」は2019年第3四半期における中国のオンラインフードデリバリー業界の取引金額は前四半期比11%増の1952.9億元に達するとし、昨年同期比では35%増となることを報告した。



▲2017Q1-2019Q3中国オンラインフードデリバリー市場  
取引規模  
(青) 取引規模(億人民币)  
(オレンジ○) 前期比成長率  
データソース:Analysys

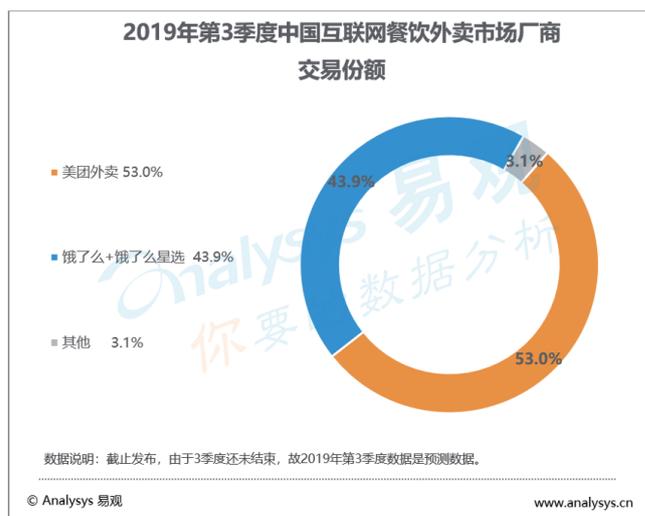
同業界が成長した要因は、注文数と顧客単価が上昇したためだ。顧客単価はわずかな上昇だが、注文数は期間中、継続的に増加している。このデータからわかるのは、中国の消費者はフードデリバリーに抵抗がなく、便利なサービスとして受け入れているという事実だ。

即時配送ネットワークはすでに社会インフラとして出来上がっており、飲食の出前サービスを提供するだけでなく、出前用の流通ネットワークの拡大に伴い、家政婦サービスや清掃サービス等の地域に根ざした生活サービスが提供される等、地域サービスを発展させ

ている。また、デジタル経済の変革、サービスの強化も、業界の重点動向である。ビジネスを拡大させるべく、ますます多くの第三線、第四線都市の業者がデリバリープラットフォームを活用するようになっている。

## 2019年第3四半期、中国オンラインフードデリバリー企業の市場シェア

「2019年第3四半期の中国オンラインフードデリバリー企業の市場シェア」のデータによると、「美团点评」の取引シェアは推定53.0%、「饿了麼」+「饿了麼星選」の取引シェアは推定43.9%を占めており、他の企業のシェアはわずか3.1%程度と見られている。フードデリバリー市場はいわゆる「天下二分」の状態であり、「参入障壁は高い」と言える。

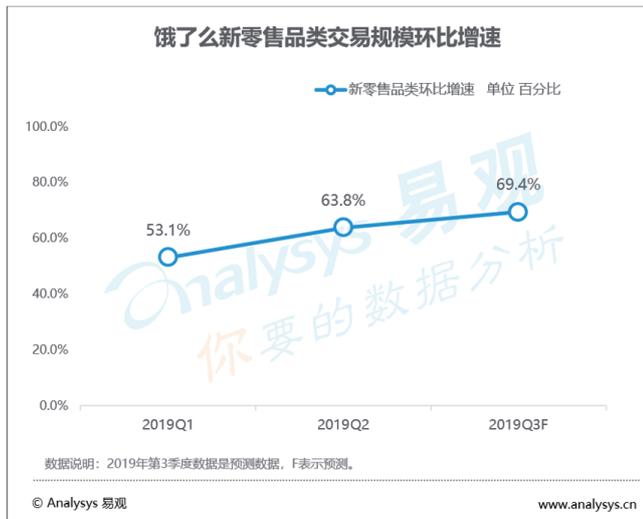


▲2019Q3中国オンラインフードデリバリー企業  
市場シェア  
データ説明:発表時にQ3が終了していなかったため、  
2019年Q3は予測データである。  
データソース:Analysys

「饿了麼」は2018年4月、95億ドル(約1兆円)で「アリババ」とその傘下の「アント・フィナンシャル」によって買収された。「アリババ」はその後、「饿了麼」とロコサイトの「口碑」を合併させ、地域密着型生活サービス会社を新たに設立した。現在、「饿了麼」は地域生活に基づいたデジタルプラットフォームサービスを推進しており、ニューリテール(新零售)エコシステム向けの様々なサービスを提供している。今後もニューリテール分野の取引金額は高い成長率を維持することが予想されている。



データによると、「饿了麼」のニューリテール分野の成長率は50%以上を維持しており、取引規模も拡大し続けている。2019年第1四半期と比較して、ニューリテール分野は倍増した。



▲「饿了麼」ニューリテール分野取引規模前期比増加  
データ説明:2019年Q3は予測データであるため、Fは予測を表示。  
データソース:Analysys

2019年第3四半期、「美团点评」はデリバリー事業の通常業務の維持、流通能力の保証、飲食店向けオンライン・マーケティング製品の開発を続けている。「美团点评」の全体業務の中では、「食」を中心とするプラットフォームを維持しながら、細部にわたる店舗運営および生活サービス、新事業に力を入れている。2019年8月末、「美团点评」は2019年第2四半期の財務報告書を発表し、上場以来初の黒字を達成し、フードデリバリー業務も初の黒字を達成した。同四半期の総収入は227億元(約3570億円)、調整後の純利益は15億元(約236億円)となった。同財務報告書によると、「美团点评」のフードデリバリー事業は主に客単価の上昇、補助金の削減、配送コストの削減等の影響で売上総利益率の増加につながった。9月末までの状況から判断するに、「美团点评」は2019年第3四半期も黒字を維持できるだろう。

	未經審核 截至下列日期止三個月					
	2019年6月30日			2018年6月30日		
	到店、酒店 餐飲外賣	到店、酒店 及旅遊	新業務 及其他	到店、酒店 餐飲外賣	到店、酒店 及旅遊	新業務 及其他
收入	12,844,720	5,245,308	4,613,109	8,907,967	3,672,694	2,492,103
毛利/(損)	2,860,276	4,659,267	421,092	1,410,306	3,334,019	(1,903,575)
毛利率	22.3%	88.8%	9.1%	15.8%	90.8%	(76.4%)

(人民幣千元, 百分比除外)

来源: 美团点评 2019 年第 2 季度财报

▲データソース:美团点评2019年第2四半期財務資料

## オンラインフードデリバリーアプリのユーザー分析

フードデリバリーアプリのユーザー分析に関しては、「Analysys」のデータによると、2018年8月末時点で「饿了麼」アプリのマンスリー・アクティブユーザー数は5584.4万人、「美团」アプリは3560.5万人に達した。



▲2019年8月 現状分析  
(青) アクティブユーザー数(万)  
(オレンジ○) 一日平均アクティブユーザー数(万)  
データソース:Analysys

また、「iiMedia Research」のデータからは、オンラインフードデリバリーを利用するユーザーを年代別に分ける場合、24歳未満(1995年以降に生まれた若者)がもっとも多いことがわかる。「美团」「饿了麼」ともに24歳以下が50%以上を占めている。30歳以下までに範囲を拡大すると、ともに80%程度という高い割合を占めていた。



▲2019年2月 「饿了麼」「美团」利用ユーザー年齢分布  
(青) 24歳以下  
(赤) 25-30歳  
(緑) 31-35歳  
(オレンジ) 36-40歳  
(紫) 41歳以上  
データソース:iiMedia Research

## アメリカと中国で自動運転を運用

社名	深圳裏動智駕科技有限公司	英語名	AutoX
代表者	肖健雄	URL	https://www.autox.ai/
所在地	深圳市南山區粵海街道高新區社區高新南九道 10 號深圳灣科技生態園 10 棟 808		
売上 (RMB)	N/A	従業員 (人)	50 以上
創業年	2018.01.03		
資本金 (RMB)	500 万 (約 6500 万円)		
サービス内容	自動運転のシステム開発		



自動運転技術の研究開発を行っている企業。

2016年にカリフォルニアで創業チームが立ち上げられ、中国国内では深圳・上海・北京・常州にR&Dセンターや生産拠点を設けている。

主力サービスはRobo-Taxi、Robo-Deliveryで、米カリフォルニア州当局から公道自動運転許可を取得した初の中国系スタートアップ。

現在はまだ試験導入の段階だが、個人の移動手段としての地位獲得を目指している。

将来的には1兆ドル(約110兆円)と自社で試算している自動運転市場の覇権を取るべく、多額の資金調達をしながら研究開発を続けている。

### ■業界ポジション: 100億円以上の資金調達と高い技術力でビジネス面と技術面の双方で世界トップを狙う

創業者の肖健雄は、米マサチューセッツ工科大学で博士号を取得後、米プリンストン大学でコンピュータービジョンやロボット関連のラボラトリーを創設した人物であり、企業トップが自ら設計できるというのは同社の強みの一つ。

同社はこれまで巨額の資金調達を行ってきた。

シリーズAでは「東風汽車」「Plug and Play」「アリババ創業者ファンド」などから約110億円を調達。その後プレシリーズBでは主に深圳のファンドから数十億円を調達、近々シリーズBの準備に入るといふ。

前述したが、同社は現在Robo-DeliveryとRobo-Taxiのサービス展開を目指している。Robo-Deliveryは既に2018年8月にカリフォルニア州で限定的に試験運営している。安全面を考慮して実際にはスタッフが同乗しているが地元グロサリーと提携して顧客に食品を配達している。Robo-Taxiではカリフォルニア州当局から許可を得ており、深圳でも公道試験走行の免許を授与された。上海では具体的に進んでおり、昨年8月上海市嘉定区と戦略的提携関係を結んだと発表した。同区内に無人運転のモデル地区を設け、今年末から来年初めにかけて100台の自動運転タクシーによる試験営業を開始するといふ。

同社は車体自体の開発は行わないが、「比亞迪(BYD)」、「奇瑞(Chery)」、「長城(Great Wall)」、「上海汽車(SAIC)」など複数の中国メーカーの車種に自動運転技術を提供しているほか、深圳最大のEVタクシー会社「鵬程電動(PengCheng Electric Automobiles)」やEV商用車を用いた物流ソリューションを提供する「地上鉄(DST)」とも提携して、無人の自動運転車を使ったサービスの展開を進めている。

また2020年1月、フィアットと提携して、中国をはじめとするアジアの国々とヨーロッパでも大量のロボタクシーを展開すると発表した。



▲Robo-Delivery(アメリカ)



▲Robo-Taxi(アメリカ)



▲欧州モデル(コンセプトカー)



▲車体制御システム



▲フィアットモデル



▲BYDモデル



▲タクシーとトラック(東風汽車モデル)



▲公道試験運転(アメリカ)

## 深圳の 新型コロナウイルス事情



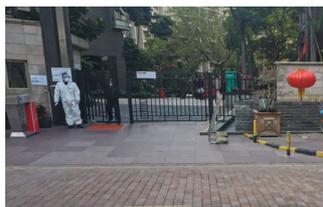
そろそろ違う話題にしたいが、中国全土は新型コロナウイルスの影響で厳しい外出制限が一ヶ月以上続いていて、日常生活のすべてが新型コロナウイルスと関わっていると言っても過言ではない。上記は深圳市南山区中心部の国道で、普通ならよく渋滞しているが、このように時計が止まったような風景になっている。

特に流動人口が多い深圳は感染拡大防止のためにしっかりと感染症対策を実施してきて2月26日現在、感染者数は連日0名をキープしている。

感染が広まっている中国を1月末に応援していた日本も、2月末現在には感染拡大が懸念され、中国が実施している対策は一つ参考になるのではと思う。とはいえ、国勢も生活環境も習慣も違う国であるため、日本は日本なりの打開策を導いていくと思う。



▲警備員達は防護服でオフィスの来訪者に対して体温検査をしっかりとチェック



▲マンションは入り口で敷地内に外部の人が入らないようにしている

唯来企業管理諮詢（深圳）有限公司  
副総経理

姜 香花

日本・中国専門の進出・撤退案件のエキスパート。現在はクロスボーダーM&A手がけている。日本人、中国人の気持ちを理解したコンサルティングに定評。中国事業再編・M&Aサービス担当。



▲宅配配達員による感染を防ぐために、配達者の立ち入り禁止をしていて、配達で届いたものは1階のロビーに集め、各自が取りに行く



▲KFCは店内飲食が禁止で、QRコードで読み込み注文し、テイクアウト対応にチェンジしている。

感染症対策も大事であるが、会社の経営活動の復帰をサポートする政府の政策も次々と発表されている。

感染防止対策のために、経済活動は確かにダメージを受けているが、復帰のために深圳は一生懸命になっているのが、電光掲示板でしじみに伝わってきている。

中国だけではなく、日本でも他の国でも発生が一日も早く終息できることを祈る。



▲弊社が入居している南山区ソフトウェアパーク内のエレベーターに貼っている政府支援策のポスター



▲HITACHI中央空調はあなたと一緒に感染症対策をしていますという内容の電光掲示板

（レポートは2020年2月18日現在の情報）



# 深圳未来创新服务中心

## MIRAI Innovation Center Shenzhen

深圳市南山区軟件産業基地5E棟522号 518061  
TEL:86-135-3089-3085  
<https://micsz.jp/>